



平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年8月8日

上場会社名 株式会社東京ソワール 上場取引所 東
コード番号 8040 URL <http://www.soir.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 萩原 富雄
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 宮本 幸三 (TEL) 03-5474-6617
四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日 配当支払開始予定日 平成24年9月3日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有（記者向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年12月期第2四半期の業績（平成24年1月1日～平成24年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年12月期第2四半期	9,350	5.7	572	14.0	640	15.6	405	53.4
23年12月期第2四半期	8,846	1.6	502	△9.7	553	△9.1	264	△41.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	22.06	—
23年12月期第2四半期	14.28	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
24年12月期第2四半期	16,246	11,341	69.8
23年12月期	16,217	11,046	68.1

（参考）自己資本 24年12月期第2四半期 11,341百万円 23年12月期 11,046百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	4.00	—	5.00	9.00
24年12月期	—	5.00	—	—	—
24年12月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の業績予想（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	17,800	2.4	550	△12.6	650	△10.9	400	32.7	21.75

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年12月期 2 Q	19,300,000株	23年12月期	19,300,000株
-------------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

24年12月期 2 Q	912,583株	23年12月期	909,726株
-------------	----------	---------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年12月期 2 Q	18,389,135株	23年12月期 2 Q	18,527,083株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績見通しに関する事項は、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当社は、平成24年3月14日開催の取締役会において、「株式給付信託（J-E S O P）」を導入することを決議し、平成24年6月5日付で、資産管理サービス信託銀行株式会社（信託E口）（以下「信託E口」といいます。）が当社株式295,000株を取得しております。信託E口が所有する当社株式については、自己株式に含めて記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間（平成24年1月1日～平成24年6月30日）における日本経済は、東日本大震災の復興需要等により持ち直しの動きが見られましたが、欧州財政問題の再燃により海外景気の下振れ懸念が高まったことに加え、国内の電力供給不足への不安や政局の混迷も相まって、引き続き不透明な状況が続いております。

当アパレル業界におきましては、東日本大震災後、消費の自粛ムードは落ち着きを取り戻しつつありますが、雇用や所得環境の悪化により価格に対する消費者の目は厳しさを増し、節約意識や低価格志向が継続しております。

こうした状況の中で当社は、新規顧客開拓のためのフォーマルコンセプトショップ「フォルムフォルマ」を始め、引き続きTV通販やネット販売などへの取り組みを強化しました。また、アウトレット店舗については、既存販路の店頭在庫の鮮度を保つ役割りを担うなど、取引先全体の売場の活性化を図っております。

商品政策面では、ミセス向けには米沢織りなどの上質な素材・シルエット表現にこだわった洗練された大人のフォーマルを打ち出すとともに、ヤングからキャリアを対象として、葬儀への参列から入卒、食事会などのオケーションに対応できる汎用性を高めたブラックフォーマルを多く提案いたしました。

生産については、海外生産は安定生産への不安がある中国依存を抑えてベトナム生産比率を高めるとともに、国内生産は高品質で短納期生産が可能なことから、追加発注や急な注文にも柔軟に対応してもらえることを再評価し、上質な素材にこだわったブラックフォーマルの生産を増やすなど、安定性と柔軟性を重視した生産体制を進めております。

この結果、商品別の売上高は、ブラックフォーマルが61億79百万円（前年同四半期比4.7%増）、カラーフォーマルが16億14百万円（同9.8%増）、アクセサリ類が15億56百万円（同5.5%増）となりましたことから、当第2四半期累計期間の売上高は前年同四半期比5億3百万円増の93億50百万円（同5.7%増）となりました。

利益面では、売上原価率の高いカラーフォーマルの売上高が回復傾向にあることや着心地感などを重視した縫製仕様への変更に伴う工賃アップなどにより、売上総利益率は前年同四半期比0.4ポイントダウンの49.2%となりました。販売費及び一般管理費は、取引先店頭の売上高に連動した販売員へのインセンティブ支給に伴う給与の増加や、昨年は規模を縮小していた展示会の再開及び新規出店に伴う販売促進費、広告宣伝費などの増加により、全体では前年同四半期比1億46百万円増（同3.8%増）となりました。その結果、当第2四半期累計期間の業績は、営業利益は5億72百万円（同14.0%増）、経常利益は6億40百万円（同15.6%増）となりました。また、特別利益として投資有価証券売却益63百万円を計上しましたことから、四半期純利益は4億5百万円（同53.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は162億46百万円となり、前事業年度末に比べて28百万円増加いたしました。これは主に、棚卸資産の減少2億30百万円があったものの、売上債権の増加3億20百万円や現金及び預金の増加1億62百万円等によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べて2億65百万円減少し49億4百万円となりました。これは主に、仕入債務の減少2億26百万円や退職給付引当金の減少21百万円等によるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べて2億94百万円増加し113億41百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少18百万円があったものの、利益剰余金の増加3億13百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて、1億62百万円増加し17億91百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は2億3百万円（前年同四半期は3億63百万円の支出）となりました。これは主に、売上債権の増加3億20百万円や仕入債務の減少2億26百万円があったものの、税引前四半期純利益7億2百万円やたな卸資産の減少2億30百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は61百万円（前年同四半期は43百万円の支出）となりました。これは主に、固定資産の取得による支出20百万円等があったものの、投資有価証券の売却による収入90百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億2百万円（前年同四半期は1億29百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払いによる支出91百万円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、第2四半期累計の業績を踏まえ、平成24年2月14日公表しました「平成23年12月期決算短信（非連結）」の業績予想を修正いたしました。

なお、詳細につきましては、平成24年7月23日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

2. サマリー情報（注記事項）に関する情報

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,629,390	1,791,568
受取手形及び売掛金	3,614,092	3,934,611
商品及び製品	3,556,364	3,337,553
仕掛品	161,000	150,700
原材料	5,263	3,717
その他	409,070	277,847
貸倒引当金	△6,253	△5,387
流動資産合計	9,368,929	9,490,612
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,987,814	1,987,814
その他(純額)	1,182,481	1,146,864
有形固定資産合計	3,170,295	3,134,678
無形固定資産	37,201	35,280
投資その他の資産		
投資有価証券	1,499,905	1,447,034
賃貸不動産(純額)	1,612,510	1,606,871
その他	543,190	532,620
貸倒引当金	△14,620	△953
投資その他の資産合計	3,640,986	3,585,573
固定資産合計	6,848,483	6,755,532
資産合計	16,217,412	16,246,145
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,772,004	2,545,392
未払法人税等	241,616	277,541
返品調整引当金	418,000	401,000
その他	849,253	824,268
流動負債合計	4,280,874	4,048,202
固定負債		
退職給付引当金	597,308	575,541
役員退職慰労引当金	155,451	145,068
資産除去債務	37,653	37,996
その他	99,141	97,748
固定負債合計	889,553	856,354
負債合計	5,170,427	4,904,557

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,049,077	4,049,077
資本剰余金	3,732,777	3,732,777
利益剰余金	3,553,313	3,867,024
自己株式	△337,532	△338,099
株主資本合計	10,997,635	11,310,780
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	49,349	30,807
評価・換算差額等合計	49,349	30,807
純資産合計	11,046,985	11,341,588
負債純資産合計	16,217,412	16,246,145

(2) 四半期損益計算書
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	8,846,056	9,350,005
売上原価	4,460,696	4,747,869
売上総利益	4,385,360	4,602,135
販売費及び一般管理費	3,883,010	4,029,336
営業利益	502,350	572,799
営業外収益		
受取利息	596	511
受取配当金	21,823	24,173
受取賃貸料	33,643	43,381
その他	20,759	23,272
営業外収益合計	76,822	91,338
営業外費用		
賃貸費用	20,061	18,028
支払手数料	4,789	4,795
その他	456	1,127
営業外費用合計	25,307	23,950
経常利益	553,865	640,187
特別利益		
投資有価証券売却益	—	63,380
特別利益合計	—	63,380
特別損失		
固定資産除却損	20,980	—
投資有価証券売却損	—	896
災害による損失	16,754	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	22,520	—
特別損失合計	60,256	896
税引前四半期純利益	493,609	702,672
法人税、住民税及び事業税	107,166	260,149
法人税等調整額	121,950	36,860
法人税等合計	229,116	297,009
四半期純利益	264,492	405,662

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	493,609	702,672
減価償却費	48,656	59,247
固定資産除却損	20,980	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	22,520	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△62,484
受取利息及び受取配当金	△22,420	△24,684
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	12,000	△17,000
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	13,960	△14,533
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,830	△21,766
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△44,108	△10,383
売上債権の増減額 (△は増加)	△374,468	△320,518
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	△11,522	13,224
たな卸資産の増減額 (△は増加)	7,242	230,656
前払費用の増減額 (△は増加)	79,983	109,090
仕入債務の増減額 (△は減少)	△461,458	△226,611
未払金の増減額 (△は減少)	△153,739	△57,672
未払消費税等の増減額 (△は減少)	17,428	39,144
その他	△25,533	5,047
小計	△372,038	403,428
利息及び配当金の受取額	22,420	24,684
法人税等の還付額	2,795	—
法人税等の支払額	△16,820	△225,002
営業活動によるキャッシュ・フロー	△363,643	203,110
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△7,881	△7,612
投資有価証券の売却による収入	—	90,156
固定資産の取得による支出	△51,993	△20,878
貸付けによる支出	△7,238	△2,605
貸付金の回収による収入	7,594	7,580
敷金及び保証金の差入による支出	△6,806	△7,725
敷金及び保証金の回収による収入	21,339	558
その他	1,648	1,993
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,336	61,466
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△92,606	△91,153
自己株式の取得による支出	△32,120	△566
その他	△5,017	△10,678
財務活動によるキャッシュ・フロー	△129,743	△102,399
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△536,724	162,178
現金及び現金同等物の期首残高	1,858,354	1,629,390
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,321,630	1,791,568

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。